

えらいひとより おもしろいひと

Learners' Day :

これからの時代の、リーダーシップと学びを考える1日。

参加者向けご案内資料

2026年11月28日（土）12-19時

Shiseido Future University（東京・銀座）

えらいひとより おもしろいひと

Learners' Day :

これからの時代の、

リーダーシップと学びを考える 1 日。

リーダーシップとは一体なんですか？

それは、地位や権威に独占されるのではなく、

私たち一人ひとりに宿るもの。

先の見えない霧の中でも世界を丁寧に観察し、

自らの意図を持って周囲に働きかけ、変化を創り出していく。

そのプロセスこそが、

これからの時代のリーダーシップのかたちです。

私たちが、数多くのビジネスパーソンと学びを共にする中で、

優れたリーダーシップの実践に共通する、

一つの重要な因子が見えてきました。

それは「面白がり力」。

不確実性や相反する考えを、面白いと思える力。

自身の好奇心を起点に問いを持ち続け、

知的な謙虚さを持ち、常に学び続けようとする態度です。

面白がり力によって起こる学びは、

孤独な試験勉強でも、生産性を競う道具でもない。

知恵に耳を傾け、他者との対話を通じ

新たな意味を探究する、市民的な営みです。

面白がり力はどのようにして育まれるのか。

AI時代、リーダーはどのように学び続けるべきか。

本イベントは、私たち大人が次世代のために体現すべき

リーダーシップと学びの意味を、共に紡ぎ直す実験の場です。

イベント概要

えらいひとよりおもしろいひとは、
これからの時代のリーダーシップと
学びのあり方を考えるためのイベントです。

日時 | 2026年11月28日（土）12-19時

会場 | Shiseido Future University（東京・銀座）

主催 | Learner's Learner

協力 | Shiseido Future University

12:00	●	開場
12:20	●	オープニング・導入
13:00	●	基調講演：オードリー・タン
14:00	●	会場リフレクション
15:00	●	ファカルティセッション
16:40	●	統合セッション
17:30	●	懇親会
19:00	●	解散

01

基調講演 オードリー・タン

テクノロジーが変える未来と
これからの教育に
求められるもの

02

ファカルティ セッション

各セッションに分かれ
多様なトピックの実践者と
ともに「面白がり力」を探求

03

統合 セッション

他の参加者とともに
イベントで得た
気づきやインサイトを整理

04

懇親会

参加者とともに
つながりを深め
今日の学びを未来へつなげる

基調講演

テクノロジーが変える未来 人と組織の学びは どこへ向かうか

※オードリー・タン氏はオンラインでの登壇となります。

KEYNOTE SPEAKER

AUDREY TANG

オードリー・タン

台湾初代デジタル発展部長（2022-2024）

プログラマー・アクティビスト

デジタル民主主義とPlurality（多元性）

の世界的な提唱者



対話をひらく3人

樋口 泰行

Yasuyuki Higuchi

オフィス樋口代表
パナソニックコネクト前CEO

1957年生まれ。大阪大学工学部卒業後、1980年に松下電器産業入社。ハーバード・ビジネス・スクールMBA修了後、ボストンコンサルティンググループ、アップル、コンパック、日本HP社長、ダイエー社長、日本マイクロソフト代表取締役を歴任。2017年パナソニックグループに復帰し、2022年よりパナソニック コネクト CEO。2026年3月退任。



篠田 真貴子

Makiko Shinoda

エール株式会社 取締役

社外人材によるオンライン1on1を通じ企業の組織改革を支援。2020年3月のエール参画以前は、日本長期信用銀行、マッキンゼー、ノバルティス、ネスレを経て2008～18年ほぼ日取締役CFO。人と組織の関係や女性活躍に関心を寄せ続ける。『LISTEN—知性豊かで創造力がある人になれる』監訳『まず、ちゃんと聴く—コミュニケーションの質が変わる「聴く」と「伝える」の黄金比』巻頭言。米ペンシルバニア大ウォートン校MBA、ジョンズ・ホプキンス大国際関係論修士。



黒川公晴

Kimiharu Kurokawa

Learner's Learner CEO
合同会社こっから 代表社員

2006年外務省入省。外交官としてワシントンDC、イスラエル/パレスチナに駐在。2013年に帰国後は、安全保障や経済問題等様々な分野で政府間交渉に携わった。首相・外相の英語通訳を務める。2018年に独立以降、ファシリテーターとして企業の組織・人材開発を支援。リーダーシップ育成、ビジョン・バリュー策定、カルチャー変革、学習型組織作り、事業開発等のサポートを行う。2021年からは米国ミネルバと事業提携し、日本企業向けのリーダーシップ開発プログラム「Managing Complexity」を展開。自身も講師を務める。ペンシルバニア大学組織開発学修士。

ファカルティセッションでは、みなさんが8つのテーマから興味のあるセッションを1つ選んで参加します。
多様なリーダーシップと学びの実践者たちと、参加者との対話を通じて、問いを深め、学び合う75分です。

A 「面白がり力」は企業価値を生み出すのか？ ー複雑性システムである大企業の可能性ー

大企業は学びの墓場なのか、出発点なのか。規模・ステークホルダー・しがらみ。面白がらなければやっていけない環境を生きてきた3人の体験から「面白がり力」と企業価値の関係を考えます。大企業だから発揮できる面白がり力とは何か、会場全体で探ります。

MODERATOR

SPEAKER



岩田 太地

日本電気株式会社みらい価値共創部門
主席ビジネスプロデューサー



二木 祥平

LINEヤフー株式会社上級執行役員
上級執行役員コーポレート
ビジネスドメイン CPO



Thomas Mayes

ウーブン・バイ・トヨタ株式会社
Head of
Learning & Development

B 起業家は育てられるのか？ ースタートアップにおける「面白がり力」の役割を考えるー

起業家は育てられるのか、それとも人の資質次第なのか。誰もやったことのないことをやる、ハードシングスに折れない、変化を敏感に察知する——事業をつくる人と育てる仕組みをつくる人の実践から、「面白がり力」と起業家精神の関係を考えます。

MODERATOR

SPEAKER



中田 華寿子

アクチュアリ株式会社 FoundersNation株式会社代表取締役CEO
代表取締役
一般社団法人スタートアップ
エコシステム協会副代表理事
東京科学大学特任教授



名倉 勝



藤本 あゆみ

一般社団法人スタートアップ
エコシステム協会 代表理事



橋本 正徳

株式会社ヌーラゴ
代表取締役

C 違いを面白がれる組織は、 なぜ強いのか？

一人ひとりの能力を引き出す「面白がり力」の土壤ー

組織の能力は、足し算では決まりません。違いが面白がれている組織と、違いが黙認されているだけの組織では、引き出される力がまるで違う。面白がり力と能力が互いを耕す循環を、日々の現場のどこから始められるのかを考えます。

MODERATOR

SPEAKER



墨 健二

合同会社こっから 代表社員
株式会社プレイフォア 代表取締役
一般社団法人ALIVE 専務理事



松井 しのぶ

株式会社ユーザベース
上席執行役員CHRO



山口 有希子

パナソニック コネクト株式会社
取締役 SVP CMO

D 数字にならない面白がり力を 経営者はどう「読む」のか？

ー面白がり力から探る、経営哲学ー

経営とは、数字で見立て、数字で判断する仕事です。それでもなぜ、数字になりにくいリーダーシップという学びに時間を投じるのか。面白がり力は数字と対立するのか、それとも数字の手前にあるのか。経営者の実践と哲学から探ります。

MODERATOR

SPEAKER



宮川 愛

元シスコンシステムズ執行役員人事本部長
／元(株)メルカリ執行役員CHRO



堅田 航平

五常・アンド・カンパニー
株式会社Chief Financial Office

E AI時代、身体役割ってなんだろう？

—面白がり力と感覚のつながりを探る—

「AIの時代こそ身体性が大事」——このセッションは、その合意の先から始めます。走る人、靴をつくる人、人が集まる場をつくる人の一次情報を手がかりに、身体を通した学びとは何か、人と人がともに居る意味とは何かを問い直します。

MODERATOR

SPEAKER



富田 憲二

株式会社ラントリップ取締役



船瀬 悠太

noll株式会社代表取締役



斉藤 晴久

PerkUP株式会社
代表取締役 COO

F すでに知っていることは面白がれるのか？

—アフリカから「面白がり力」の多面性を考える—

村に図書館をつくっても読み書きの習慣がない。ランタンを届けても想定外の使われ方をする。アフリカの事業での「想定が外れた瞬間」を手がかりに、なぜ私たちは顧客や仕事を「もう知っている」と思うのか。未知だけでなく既知を面白がる力を考えます。

MODERATOR

SPEAKER



沖本 裕一郎

エグゼクティブコーチ・コンサルタント
元株式会社ロゴガイドfounder/取締役



原 ゆかり

株式会社SKYAH 代表取締役



谷内 愛

WASSHA株式会社 取締役COO

G AI時代を面白がる人は、どう学ぶのか？

—日本の学びの源流から考える「面白がり力」—

ラーニング、エクスペリエンス、リーダーシップ——知らないうちに、学びのスタンダードを西洋的なものにしていないでしょうか。明治以前の日本の学びの源流を見つめ直し、AI化が進む今だからこそ、「探究」と未来の学びを考えます。

MODERATOR

SPEAKER



加藤 理啓

探究と奏株式会社 代表取締役社長



市川 力

一般社団法人みつかるわかる代表
※特別ゲスト

H AI時代、問いの価値はどこに行くのか？

—「問い」の可能性を問う—

問いが大事だということに反対する人はいません。では、筋の良い問いが立った瞬間を最近いつ見たでしょうか。AIが答えを無限に供給する世界で、なぜ現場から問いが消えるのか。「いい問いのつくり方」ではなく、問いそのものの価値と可能性を考えます。

MODERATOR

SPEAKER



小田木 朝子

株式会社NOKIOO
取締役



荒木 博行

株式会社学びデザイン
代表取締役



岩佐 文夫

問い読共同創業者／編集者



学ぶ力を再創造する

株式会社Learner's Learner(2024年7月設立)は、「学ぶ力を再創造する」をミッションに掲げるリーダーシップ教育の会社です。2021年より米国ミネルバプロジェクト社と提携し、複雑な状況に向き合うための思考習慣を鍛えるプログラム

「Managing Complexity」を、大手企業を中心に展開してきました。2024年からは、子ども向けの教育事業にも取り組んでいます。

Learners' Day開催にあたって

日本企業は長く、「正解を磨き込む」ことで力を発揮してきました。すでにある勝ちパターンを、より速く、より精緻に実行する力です。けれど、頼れる前例がない時代になったとき、同じ力だけでは前に進めません。経営戦略が変われば、組織に必要な力も変わり、人の育て方も変わるはずです。

いま本当に必要とされているのは、より多くの正解を知っている人ではなく、答えのない問いを前にしたときに、それを恐れず、面白がれる人ではないでしょうか。地位や権威が導いてくれる時代は終わりました。これからのリーダーシップは、一人ひとりの中に宿るものです。

「えらいひとよりおもしろいひと」というテーマは、私たちがなりの、この新しいリーダーシップ像への提言です。まだ多くの組織で名前を持たず、評価もされず、育成の対象にもならないこの態度に、私たちはあえて「面白がり力」という名前をつけることから始めました。基調講演にオードリー・タン氏をお迎えしたのも、彼女がこれまで見つめてきた、来るべき未来と、そこに向かう学びのかたちに、重なるものを感じたからです。「面白がり力」を私たち自身も体現しながら、これからも企業や社会とともに考え続けていきたいと思っています。

Managing Complexity

AI時代に求められる“適応型リーダーシップ”を
実践的に学ぶ、米国ミネルバ式プログラム

「世界一革新的な大学」として知られるミネルバ大学の設立母体、米国Minerva Projectが開発したリーダーシッププログラムです。
複雑で不確実な状況の中で、正解を教わるのではなく、**自ら状況を捉え、他者と向き合い、よりよい意思決定をしながら前に進む。**
そのために必要な3つの力を、18の「思考習慣」として体系的に身につけていきます。

適応型リーダーシップの“核”となる3つの力

システムを捉える力

複雑な状況を分解し
構造やつながりから本質を捉える

関係性をマネジメントする力

自分と他者を理解し
違いや力学を活かして人を動かす

複雑な課題を前進する力

問いを立て、発想し
よりよい意思決定を重ねながら前に進む

16の学習原則に基づく科学的設計



反転学習 × 実践主義（アクションラーニング）のサイクルで、知識を“使える形”に定着させる

実績

90+

導入企業

1,000+

受講者数

64+

平均NPS

資生堂・パナソニックコネクト・電通・NECほか大手企業が多数導入

プログラム概要

週1回2時間 × 10週間

オンライン開催 | 実践型セッション

「感覚でぼんやり理解してきたことを構造化・言語化してくれる。
リーダーとしての停滞状態を論理的に打破する『術』を得ることが
できました。」
「全体がストーリーとしてつながっていて、気づけば学びが積みあが
る構造に。回を追うごとに視野がひらけていきました。」

—— 受講者の声より

詳しくはお問い合わせください | minerva.admin@learnerslearner.com